

III 自由意見Q & A集

- このQ & A集について
市民意識調査に回答のあった1,748人から寄せられた約640件の自由意見のなかから、よくあるご意見、ご質問などを抜粋してQ & Aにしました。
- 自由意見への回答について
このアンケート調査は無記名で、回答者が特定できませんので、寄せられた自由意見について、個別に回答はしていません。
- 自由意見の取り扱いについて
寄せられた自由意見は、各担当課において今後の取り組みの参考といたします。
- 自由意見の整理について
自由意見は、久留米市新総合計画の都市づくりの目標別に整理しています。

【目標：誇りがもてる美しい都市久留米】

●快適で潤いある都市基盤・生活基盤の整備

**Q：北野町は生活排水処理の整備が充実していない、久留米の中心地だけではないですか。
(60歳代、男性)**

A：久留米市では、豊かな生活環境の確保と公共用水域の保全を目的とし、平成20年8月に「久留米市生活排水処理基本構想」を策定しました。

この構想では生活排水処理を、公共下水道事業、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽事業の三つの手法により行うものとしています。

また、公共下水道事業の完了目標年度を平成45年度としており、旧久留米市の市街化区域については平成23年度に整備が完了し、「旧久留米市のその他の区域、北野、城島の3地区」については平成37年度、「田主丸、三瀧両地区」については平成45年度を目標としています。

下水道建設には多額の投資が必要であり、その財源は国からの交付金（補助金）やお客様からの負担金等で賄われておりますが、今後も財源確保に努め未普及地域への早期整備に向け、下水道事業の推進を図ってまいります。

【回答課：下水道建設課】

●安全・安心なまちづくり

Q：暴力団の廃絶をお願いします。そのため久留米市はこわい町という印象が強い。(60歳代、男性)

A：久留米市は、年2回（6月1日及び12月1日）の暴力団壊滅市民総決起大会の開催、地域における暴力追放運動への支援、暴力被害に関する相談への対応などを行っています。また、平成22年

10月には久留米市暴力団排除条例を施行し、暴力団の排除に関し、市、市民及び事業者の役割を明らかにするとともに、市の事務事業から暴力団を排除する取り組みなどを強化しています。今後も、警察との連携を密にするとともに、この条例の「暴力団を利用しない、暴力団に金を出さない、暴力団を恐れない」という基本理念のもと、社会全体で暴力団壊滅に向けた取り組みを進めていきます。

【回答課：安全安心推進課】

●安全・安心なまちづくり

**Q：自治会の夜間パトロールなどに参加していますが、街灯が少なかったり点灯していない所が多い。花畑から国分、野田の所を通る事が多いが、あまりの暗さに驚きます。防犯対策を小さい所から少しずつでもやってほしいと思う。
(40歳代、男性)**

A：久留米市では、平成25年3月に策定した「第2次久留米市防犯まちづくり推進計画」に基づき、総合的な防犯対策を推進しています。具体的には、自治会等が管理している防犯灯の設置費の全額補助（限度額有り）をはじめ、繁華街や駅前などに街頭防犯カメラを設置するなど、さまざまな防犯対策に取り組んでおります。今後も、市民の皆さまや警察などの関係機関と連携して、合同防犯パトロールの実施や、自転車ツーロックの推進など、積極的な防犯対策に取り組んで参りたいと考えております。

【回答課：安全安心推進課】



●安全・安心なまちづくり

Q：水害対策として河川の整備をお願いします。
(60 歳代、女性)

A：平成 24 年 7 月の九州北部豪雨に代表される集中豪雨の増加や、市街地開発の進展により、道路冠水や浸水被害が発生しやすい傾向にあります。久留米市では、その対策として、川幅を広げる河川改修や雨水を一時的に溜める雨水貯留施設の整備を進めています。

現在、市が管理する河川については安武川や湯ノ尻川などの整備、国が管理する河川については筑後川や巨瀬川の整備、県が管理する河川については上津荒木川、不動川、大刀洗川など市内 7 河川の整備が行われています。

また、東櫛原地区では、平成 25 年度より雨水地下貯留施設の整備に着工しています。

今後も、こうした河川整備、雨水貯留施設整備を進めていきながら、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

【回答課：河川課】

●安全・安心なまちづくり

Q：大事故が発生したわけでもないのに、救急車の後に大きな消防車がついて行くのはやめたらどうですか。よほど消防車がひまに見える。
(60 歳代、男性)

A：久留米市域の消防・救急業務につきましては、久留米広域消防本部で行っており、お問い合わせいただきました件につきまして、確認いたしましたので回答いたします。

救急自動車の後に消防自動車がついていくのは、救急活動を支援するのが目的で、消防隊員と救急隊員が協力して、傷病者を速く安全に救急自動車へ収容し搬送する活動を行うためです。

このような活動を行うのは、傷病者が心肺停止状態にある場合や、エレベーターのない建物において救急隊員 3 名だけでは安全に速やかに収容ができないような場合、交通事故現場で自動車の往来が多く安全管理が必要な場合です。

具体的には、救急隊による救命処置などの医療行為の補助や、階段での担架保持や資器材の搬送補助などを行っております。このため、救急隊の活動がスムーズに実施できています。

また、最寄りの救急自動車が別件などで出動中の際に、現場到着に時間を要するときも消防自動車を出動させ、救急自動車到着前までの間、心臓マッサージなどの応急処置を行っています。

久留米市における救急自動車の要請件数は年々増加傾向にあり、平成 24 年中における久留米市の救急出動件数は過去最高の 12,885 件を記録しております。

増大する救急需要のなか、この消防自動車出動の取り組みは、救命率の向上はもちろん、傷病者を安全にいち早く救急病院へ運ぶことに役立っております。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

【回答課：防災対策課】

●安全・安心なまちづくり

Q：大雨や河川増水の防災指導などはどのように実施されていますか。(30 歳代、女性)

A：久留米市では、市民等の防災知識の習得と地域防災力の向上を目的に地域で行う自主防災訓練時などで梅雨前に家庭での備え、水害時の避難などの情報収集方法、浸水時の避難方法などについて、消防機関と連携を図りながら災害時被害を最小限にできるようなアドバイスを行っております。

また、ドリームス FM にて月 1 回の防災啓発放送を行うとともに、筑後川洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップを市民などに配布し、災害の恐れがある区域の周知、災害時の行動などについて啓発し、市民の防災知識等の向上を図っております。

今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

【回答課：防災対策課】

●生活環境の保全と向上

Q：動物の命を大切に活動してほしいです。動物は人間をいやすためにいてくれるようなものなので、動物達も楽しく暮らせる街にしたい…してほしいです。(30 歳代、女性)

A：動物、とくに犬や猫等のペットは、人の心を癒してくれる存在としてますます身近なものとなっております。

動物は、健康や安全面に配慮しながら、終生愛情を持って適切に飼っていただくことが原則です。

久留米市では、動物管理センターを中心に、「どうぶつ YOU 友フェスティバル」や犬の飼い方教室の開催、犬・猫の譲渡事業、「飼い主のいない猫の不妊・去勢手術支援事業」等の動物愛護啓発事業を行っています。

今後もこれらの取り組みを継続していくとともに、獣医師会、ボランティア及び関係機関等との連携を図りながら、ご要望にあります「動物の命を大切に、動物達も楽しく暮らせる街」を目標に更なる動物愛護活動の充実に努めてまいりたいと考えています。

なお、ご不明な点等につきましては、動物管理センター（Tel.0942-30-1500）までお問合せいただきますようお願いいたします。

【回答課：保健所衛生対策課】

●循環型ごみ処理システムづくり

Q：ごみ袋をもっと大きくしてほしい。ごみ収集を福岡市のように夜にしてほしい。(30歳代、男性)

A：久留米市では、①ごみ減量、②分別の徹底とリサイクルの推進を大きな目的として、有料指定袋制度を平成5年度から現在のサイズで開始しました。この指定袋制度導入後、ごみの排出状況のサンプリング調査を行っておりますが、その結果から現在の袋のサイズで充足していると判断しています。また、ごみ減量・排出抑制を推進する目的から、特大サイズを作成する予定は今のところございません。

次に福岡市では、交通渋滞を避け交通量の少ない深夜に作業することが収集運搬に最も効率的であることから夜間収集が行われており、全国的にも数少ない特殊なケースです。

久留米市では、分別推進員制度や、集積所や回収容器を利用者で管理していただくなど市民の皆様と協働により現在の収集体制を築いてまいりました。久留米市といたしましては、これまでどおり皆様方のご協力を賜りながら、現在の収集体制を継続するとともに、今後もよりよい収集体制を築いていきたいと考えております。

今後とも、ごみ減量と分別収集にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【回答課：資源循環推進課】

●自転車が似合うまちづくり

Q：西鉄久留米駅近辺の市営駐輪場について、高架下の駐輪場は1台1台の幅が狭くて非常に入れにくいので、管理人の方が積極的に駐輪を手助けして下さると助かります。地下駐輪場の方はスロープが急なので中高年の方には負担が大きいと思います。エコな自転車にやさしい町づくりをお願いします。(20歳代、女性)

A：日頃より、市営自転車駐車場をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

一点目の西鉄久留米駅高架下自転車駐車場の件ですが、利用者が駐輪でお困りの場合、シルバー人材センター（委託先）の職員が積極的にお手伝いをするように指導いたします。なお、職員が気づかない場合などには、お手数ですが、その旨申し出てください。

次に東町地下自転車駐車場についてですが、地下に自転車を駐輪する構造のため、ご利用いただく方によっては出入りの際にご不便をおかけする場合もあると思いますので、西鉄久留米駅高架下自転車駐車場も含め、今後、皆様が利用しやすくなるように検討してまいりたいと考えております。

今後とも更なるご理解とご協力をお願いいたします。

【回答課：生活道路課】

【目標：市民一人ひとりが輝く都市久留米】

●人権意識の確立

Q：差別のない町づくりと言われていますが、何の差別もしてないのに人権問題を取り上げすぎだと思います。(60歳代、男性)

A：久留米市では、「市民一人ひとりが輝く都市久留米」を目指して、あらゆる差別や人権侵害をなくすためさまざまな取り組みを行っております。

しかし、新聞などの報道にもありますように、子どものいじめや高齢者・障害者に対する虐待など、身近なところで人権侵害が起こっています。

そのため、市ではお互いの人権を尊重するためのさまざまな啓発活動を今後も行う必要があると考えています。

みなさまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【回答課：人権・同和対策課】

●豊かな生涯学習の振興

Q：高齢化に伴い、高齢者が生きがいをもてるように、コミュニティセンターや大学の公開講座など、参加しやすい文化的なイベントを充実していただきたい。(50歳代、男性)

A：現在、高齢者に生きがいをもつていただく事業として、生涯学習センター（諏訪野町）ではシニアカレッジ、総合支所管内の社会教育施設では高齢者大学等を開講しております。校区コミュニティセンターではさまざまな学級を開設（一部未開設）しております。他にも、市内の大学が主催する公開講座も高齢者が楽しめるものとなっております。随時広報くために掲載しておりますのでご利用ください。今後も地域住民の方が参加しやすい校区コミュニティセンターでの高齢者学級等の充実、及び未開設校区での新規学級の開設を支援していきます。また、各々の社会教育施設でおこなう講座・イベントについても、住民ニーズを探り満足度の高いものを企画していきたいと考えています。よろしく申し上げます。

【回答課：生涯学習推進課】



●豊かな生涯学習の振興

Q：図書館など自習できる場所が少ないと思います。このため塾などの有料施設を利用するしかないので、自習できる場所を教えてください。
(50 歳代、男性)

A：現在中央図書館には、学習席が 60 席ございます。夏休みなど学校長期休校時や定期考査前などは満席となりますが、平日の学習席利用は半数程度です。日によっては、利用が 1 割～2 割程度の時もあります。ご希望に添えず大変恐縮ですが、常時満席を前提とした学習室整備は、現在の施設では困難です。また、図書館の基本的な役割は、利用者の皆様に資料や情報を提供することと考えています。ただし、学習施設に対する市民のニーズは認識しておりますので、図書館では無料で利用できる市内関連施設の学習席及び久留米市生涯学習センター「え～るピア」学習室の個人利用(有料)についてご案内しているところです。一般成人の方であれば、大学図書館の学習席利用も可能となっています。

今後、久留米市民の自学自習の場をどのように提供していくのか、関係部局とも連携してまいります。

【回答課：中央図書館】

●多様で魅力ある市民文化の振興

Q：西日本一円から人が集まるような、目玉になるイベントを行い、それを定着化させていく。もっとも久留米らしいものとしては音楽の殿堂を造り(新しい市民会館でも可)、そこで知名度のある歌手や演奏家に出演してもらう。久留米音楽フェスティバルとでもいうような催しをする。全国的なものになればとてもよい。音楽なり美術なり久留米の核を明確にする。(60 歳代、女性)

A：久留米市は、市民の皆様が心豊かで充実した生活を送ることができるよう、文化芸術の振興を見据えたまちづくりを進めているところですが、今後の文化行政においては、幅広い分野を振興していくとともに、ご指摘のように、久留米ならではの核となるものをつくっていくことも必要であると考えています。

そうした中、特に、音楽文化は、久留米市の潜在的な都市資源であり、今後、音楽を切り口としたまちづくりを進めていくことは、都市の発展のために大変有効であると考えています。このような考えから、今年度、はじめて、「くるめ街かど音楽祭」を開催したところです。また、民間ベースでも、野外音楽イベント等、今後大きな成長が期待できるイベントが開催されています。

今後は、そうした民間の方々とも連携しながら、

これらのイベントを大きく発展させるとともに、音楽を基軸としたさまざまな取り組みを進め、定住人口・交流人口の増加に繋げていきたいと考えています。

【回答課：文化振興課】

●安心して産み育てられる環境づくり

Q：今はたくさんの母親が社会で活躍しています。子どもたちを遅くまで預かってくれる場所を作ってください。(40 歳代、女性)

A：核家族化の進行や共働き世帯の増加等に伴い、保育サービスに対するニーズは高まっており、また保護者の就労形態や就労時間の多様化により、必要とされるサービスのあり方も多様化してきています。このような状況の中、遅い時間帯における保育ニーズも同様に増えており、市では認可保育所での延長保育事業や、夜間保育等、多様な保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図っているところです。

またファミリー・サポート・センター事業においては、子育ての支援を受けたい人で行いたい人が相互に会員となり、子育てに関する会員間の相互援助活動を支援していますが、利用時間は 7 時から 21 時で、仕事で遅くなるときの保育園のお迎えや外出時の子どもの一時預かりなどにもご利用いただいています。

今後も、現在行っている事業の更なる充実を図るとともに、多様化する子育て支援のニーズを的確に把握しながら、より一層、安心して子育てができるまちとなるよう、きめ細やかで総合的な子育て支援の充実に努めてまいります。

【回答課：子ども育成課】

●安心して産み育てられる環境づくり

Q：小児科に併設などで病児保育を増やしてほしい。県外にしか身内がおらず、親にも頼めず、特に冬はいっぱい預かってもらえない時があるので、せめて 3 校区分の範囲に 1 つぐらいあったらと思います。(30 歳代、女性)

A：病児・病後児保育は、以前は 2 施設だけでしたが平成 24 年 4 月より新たに 1 施設を開設し、現在 3 施設で行っております。

今後、感染症の流行期などの需要を含めて更なる充実を検討してまいります。

【回答課：児童保育課】

●生き生き育つ教育環境づくり

Q：市内の小・中学校に早急に扇風機を付けて下さい。子ども達が夏の暑さの中、暑い教室で我慢するのはかわいそうです。(40歳代、女性)

A：久留米市はこれまで、未来を担う子ども達の学習・生活の場である学校施設について、「安全安心」を重視し、耐震化工事をはじめ、外壁・防水工事などを実施してきました。

その結果、平成25年度中に市立小・中・特別支援学校の耐震化率100%を達成する見込みとなったため、「安全安心」から次のステップに進み、「快適」の視点に立った学校施設の整備・充実の取り組みを強化します。

近年、夏季における最高気温が上昇傾向にあり、真夏日も増加していることから、夏の暑い日でも児童生徒が学習に集中できる環境を整備するため、市内の全46小学校と、設置済の1校を除く16中学校の887室の普通教室に、空調機を設置します。

空調機は平成26年度末までに全ての設置を完了し、児童生徒が快適に学習できる望ましい環境を整備するとともに、夏休み期間中の学習を支援する活動を充実していきます。

【回答課：学校施設課】

●健康の保持・増進対策の推進

Q：大人の風疹抗体検査の決定が遅かったため、その前に10,000円自費で払って予防接種しました。大人のある年代のポリオの予防接種もお知らせはきたけど結局自費で夫婦2人で高いお金を払いました。その辺りの助成をもっと早く寛容にしてほしいと思います。(30歳代、女性)

A：風しんの大流行に伴いワクチン接種者が急増したことから、一時的にワクチンの供給不足が心配されました。このため久留米市では、風しんに対する十分な免疫があるかどうかを確認し、必要な人がワクチン接種を受けられるよう、平成25年7月から無料で風しん抗体検査を開始したところです。

なお、各種予防接種につきましては、「予防接種法」に基づき、定期接種は無料、成人を含む任意接種は原則有料となっていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【回答課：保健所保健予防課】

●保健・医療・福祉施策の総合的推進

Q：高齢者、子育て世代への援助は必要だと思いますが、一定の世代や対象ばかりに偏りがあるのはいかがかと思います。不妊治療への助成など子どものいない世帯にも何がしかの援助はないでしょうか。(30歳代、女性)

A：久留米市では、不妊治療のうち体外受精、顕微授精の治療費の一部を助成しています。

市内にお住まいの法律上の婚姻をしているご夫婦で、前年分(1月から5月までの申請については前々年分)のご夫婦の所得金額の合計が730万円未満の方が対象です。

助成額、助成回数、申請手続き等詳細につきましては、下記のページをご覧ください。

●「不妊に悩む方への特定治療支援事業」のページ
<http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2060hokeneisei/3020boshihoken/2008-0318-1910-469.html>

また、久留米市では、女性の健康上の相談にも応じています。予約制となっています。日時等詳細につきましては、下記のページをご覧ください。

●「女性の健康相談」のページ
<http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2060hokeneisei/3020boshihoken/2008-0318-1849-469.html>

(担当課)健康福祉部保健所健康推進課

TEL 0942-30-9731

不妊専用相談 TEL 0942-30-9345

【回答課：保健所健康推進課】

●障害者福祉の充実

Q：障害者福祉については整備的な工夫も必要でしょうが、健常者個々人が気が付いたらその場ですぐに援助できるよう理解や意識を高めていく事が大切だと思います。(60歳代、女性)

A：久留米市では、障害のある方を取り巻くさまざまな問題について、市民の関心を深めるための広報・啓発活動にも取り組んでおります。

障害のある方の実状や抱えている問題を知り、関心を深めてもらうことで、その人に必要な支援に結びついていくものと考えておりますので、今後も、障害のある方への理解が一層深まるよう、市民の方々への広報・啓発活動に取り組んでまいります。

【回答課：障害者福祉課】



●高齢者福祉の充実

Q：高齢者が1人暮らししていても安心出来るように、社会制度がわかるような仕組みをお願いします。1人で不安のため考え込んでしまい困っています。(70歳以上、女性)

A：久留米市ではさまざまな制度の内容を理解していただくために、わかりやすいパンフレットなどを作成し、市庁舎をはじめ、総合支所、市民センターなどに配置して制度の内容周知に努めています。また、高齢者やその家族からの日常生活上の相談事に対しては、上記の担当窓口に加えて、市内7箇所地域包括支援センターを開設し、保健師や社会福祉士などの専門職がその相談に応じていますので、ぜひご利用ください。地域包括支援センターまでおいでになれない場合は、ご自宅にセンター職員が訪問することもできますので、お気軽にご相談ください。

【回答課：長寿支援課】

●援護策の推進

Q：生活保護を若い時から何十年も受け続けている人がいます。だれでも、少しはどうかあっても頑張っている仕事しています。定期的なきびしく調査して下さい。私達は、医療費のことがありますし、生活保護を受けている人のように医療を受けられません。本当に正しい調査をお願い致します。自分自身で働いて生活するようして下さい。(70歳以上、女性)

A：生活保護は国の責任において国民の最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的とした制度です。また、本制度は、能力活用や資産活用などを要件として、世帯の実情に応じて最低生活に不足する分を補うものであり、その適用にあたっては、世帯員の生活状況や収入状況などについて、実態を把握する必要があります。

このためご意見にありました調査につきましては、定期的に生活状況や収入状況、就労の可否など、さまざまな調査を行っているところです。さらに生活保護からの自立支援につきましては、就労が可能な生活保護受給者に対し、就労支援を実施するなど、自立を促す取り組みも行っております。

今後とも制度を適正に運用するとともに、真に生活に困窮する方々の支援に努めてまいりたいと考えております。

【回答課：生活支援課】

【目標：地力と風格のある都市久留米】

●活気ある地域産業の振興

Q：若い人達が久留米に住みたいと思うけど安定した就労ができない現実があります。正社員として就労できる企業が多くなれば良いと思います。(60歳代、女性)

A：久留米市では、雇用の場の確保、雇用の創出を進めており、企業誘致や新産業の創出・支援などに積極的に取り組んでいます。

また、若年者の就労を支援するため、採用意欲が高い市内企業などに呼びかけて合同会社説明会を年に数回開催し、若年求職者が地元で就職するための場の提供に努めているとことです。

今後も、より多くの若年者が久留米市内で就職できるよう、取り組んでまいります。

【回答課：労政課】

●次代を見据えた地域農業の振興

Q：農業を援助するのも立派だが、農業でもうかるしくみ作りをしてほしい。農業に限らずいえる事だが、ビジネスとして成立すれば、どんな問題も解消される。農家だけでは難しいだろうが、農業でもうかるしくみ作り、ビジネスとして成立させるための支援をお願いします。(20歳代、男性)

A：久留米市では「久留米市食料・農業・農村基本計画」に基づき、「職業として選択できる魅力ある農業」の実現を目指し、「担い手の育成や生産基盤の整備による農業基盤の強化」、「販売力強化による魅力ある農業の展開」、「農業に対する市民の理解と参加の促進」の3項目を農業施策の基本的な柱に位置づけて、農業振興に取り組んでいます。

特に、久留米産農産物の販売力強化については重点的に取り組み、久留米産農産物のブランド化をはじめ、農業の6次産業化や農商工連携を推進しています。

今後とも、いただいたご意見の趣旨を踏まえ、農業振興に努めてまいりたいと考えております。

【回答課：農政課】

●にぎわいと豊かな生活文化を創出する商業などの振興

Q：一番街の寂しさは悲しくなります。前はよく行っていましたが、今は年1回も行っていない。商店街はシャッター街となり、人通り少なく、活気がありません。昔のように活気が戻るような対策をお願いします。(60歳代、女性)

A：中心市街地商店街では、土曜夜市をはじめとするさまざまなイベントを開催し、賑わいづくりを推進するとともに、「100円商店街」や「まちゼミ」など個店の販売力強化につながるような事業を展開しています。また、六ツ門地区では平成27年度の（仮称）久留米市総合都市プラザのオープンに向け、空き店舗出店者への補助や起業家支援など商業の活性化に努めています。

今後も引き続き、商工会議所、まちづくり会社、市民のみなさんと連携、協力しながら、魅力ある中心市街地の活気づくりに取り組んでまいります。

【回答課：商工政策課】

●人が集い楽しむ場と機能の整備

Q：JR久留米周辺の活性化を望みます。←市外、県外からは「駅は立派になったけど駅周りが魅力が無い」と言います。（60歳代、男性）

A：JR久留米駅は、30万都市の玄関口、そして街の顔であり、駅周辺につきましては「久留米市中心市街地活性化基本計画」にも位置付けられている地区です。

こうした中、JR久留米駅周辺については、平成23年3月の九州新幹線全線開業に合わせて、駅周辺の交通結節機能を図るために東西自由通路、東西駅前広場、アクセス道路などの周辺整備を行ってきました。また、東口側の街区では、市街地再開発事業により35階建てのマンションが建設されるなど、土地の高度利用と都市機能の更新が図られています。更に、現在、駅周辺の街区では、新幹線効果を十分に活かすべく、地元権利者の方々を中心に、まちづくりの機運が高まっている地区もありますので、今後とも、駅周辺に更なる魅力や賑わいが創出できるよう、地元権利者の皆様とも連携しながらJR久留米駅周辺の活性化に向けて取り組んでいきたいと考えております。

【回答課：まちなか整備課】

●人が集い楽しむ場と機能の整備

Q：久留米市としては、かなり努力してあるのに、企業がついてきていない。というのは、駅は市の玄関口であるのに、JR久留米駅は最近新しくなったのでさほど感じないが、西鉄の駅が汚い。観光客、ビジネスマンを迎える最初の玄関口なのに、特に花畑駅は汚い。市で指導はできないものでしょうか。（50歳代、女性）

A：西鉄久留米駅や花畑駅は、西鉄及び市で保有している施設が一体となっています。

駅前広場などの市管理部分につきましては、市の玄関口として、快適で良好な状態に保ち、景観を維持するために、定期的な道路清掃、街路樹の

剪定、道路照明灯の清掃などを行なっています。

特に利用者の多い西鉄久留米駅は毎日西口地下道の清掃、東口駅前広場と広場2階デッキの清掃を行っているほか、定期的に歩道床面、壁面の洗浄を行なっています。

西鉄花畑駅では東西駅前広場の道路清掃のほか、西側2階張出しデッキ（通路）の定期洗浄及び清掃を行なっています。

また、駅舎などの西鉄管理部分につきましては、西鉄により清掃等が実施されているため、今回いただいたご意見につきましては、西鉄へも伝えさせていただきます。

【回答課：公園土木管理事務所】

●総合的な交通体系の確立

Q：私は、他県から来て久留米に住んでいますが、住みやすく良い街だと思う。半面、道路が混んでいる事が多くて、3号線や3号線にぬける一丁田などの交差点が特に渋滞が多く、イヤになります。もっとスムーズに車が流れる事で外出の機会が多くなるのではと思います。（30歳代、男性）

A：ご意見を頂きました国道3号につきましては、久留米市中心部を南北に通過する交通や、市街地へ流入する交通及び周辺地域へ流出する交通が混在し、渋滞が慢性化している状況で、現在、久留米市街地の国道3号をはじめとした幹線道路の渋滞緩和対策として、佐賀県鳥栖市高田町～久留米市上津1丁目（上津荒木交差点）までの区間において、国、福岡県、久留米市が協力し、久留米市街地を東側に迂回する環状道路の整備を進めております。

この環状道路は、国により整備が進められている一般国道3号鳥栖久留米道路（佐賀県鳥栖市高田町～野々下交差点）と福岡県及び久留米市にて整備を進めている都市計画道路東合川野伏間線の一部区間（野々下交差点～上津荒木交差点）で形成されております。

現在、鳥栖久留米道路は、用地買収や筑後川に架かる橋梁工事等が進められております。また、東合川野伏間線は、既に福岡県事業区間（高速道入口交差点付近～矢取西交差点）が平成24年4月に開通し、残る久留米市事業区間（矢取西交差点～北島交差点）につきましても、平成26年春の完成を目標に整備を進めております。

これらの整備により、久留米市中心部に流入する交通が分散される事で、諏訪野町一丁田交差点付近を含む国道3号をはじめとした、交通混雑の緩和が図れるものと考えております。

久留米市と致しましても、これらの事業の早期完成に向けて、努めてまいりますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

【回答課：広域道路対策課】



●総合的な交通体系の確立

Q：北野方面へのバスが通っていますが、どの方向へ行くか分からないので、見やすいバスの路線図が欲しい。バスの利用者が少ないのは、このためかも知れません。バス停の時刻表も消えて見にくい。(70 歳以上、女性)

A：ご意見を頂いたバス路線図及び時刻表の件についてお答えします。

本来バス停には、そのバス停に停車するバスの路線図とともに、時刻表が掲出されていますが、ご指摘いただいたバス停は不備の状態になっていると思われます。

この路線図及び時刻表はバス事業者が作成・管理しておりますので、今回のご意見をバス事業者にお知らせするとともに、「分かりやすいバス路線図」づくりをお願いしました。

また、久留米市では、地図上にバス路線やバス停の位置を記載した「久留米広域定住自立圏公共交通マップ」を作製し、久留米市のホームページで公開しておりますので、運行ルートや停車するバス停の確認にご活用いただきますようお願いいたします。

【回答課：都市デザイン課】

●高度情報都市の実現

Q：久留米市内でのネット環境の不平等について不満があります。いつになったら三潯町のネット環境が改善されますか。(20 歳代、女性)

A：久留米市三潯地区につきましては、民間事業者は採算が見込めないことにより超高速ブロードバンド（インターネット）サービスを行う予定がありませんでした。このことから、地域情報格差是正を目的として、久留米市が情報通信基盤整備を行い、株式会社 CRCC メディア（愛称：くーみんテレビ）がインターネット等のサービスを行う方式（公設民営方式）で超高速ブロードバンドサービスを提供できるようになっております。（平成 23 年 3 月よりサービス開始）

超高速ブロードバンドサービスの利用をご希望の際は、下記のサービス提供事業者の株式会社 CRCC メディアにお問合せ願います。

【株式会社 CRCC メディア（くーみんテレビ）】
 フリーダイヤル 0120-376-412
 代表番号 0942-37-6411
 受付時間 平日 9:30～17:30

【回答課：情報政策課】

●シティ・セールスの推進

Q：久留米は通過される市になっています。ゴムの町とかラーメンや焼き鳥を食べて、わざわざ観光地として宿泊するようになっていません。

道の駅くるめの近くのスパリゾートは閉館になりましたが、この施設を観光の拠点に、耳納連山をながめたり、温泉に入ったり、秋には、フルーツ狩りの周遊コースのバスを走らせ、草野や善導寺などと結びつけて日帰りツアーとか考えてほしいと思います。(50 歳代、女性)

A：久留米市では平成 18 年 3 月に『久留米市観光・コンベンション振興基本計画』を策定し、「訪れてみたい、住んでみたいまち」を実現するため、①ほとめきのまち久留米 ②歩きたくなるまち久留米 ③元気になるまち久留米の 3 つの目指す観光まち像を設定し、久留米市の主な観光資源である自然、歴史、文化、伝統工芸、食などを活かした観光振興を進めています。

これまでの取り組みの成果として、久留米市への観光入込客数は、平成 16 年の 443 万人から、平成 23 年は過去最高の 533 万人に増加しています。

ご指摘の耳納北麓地域には、里山や農村風景等の自然や地域の特色ある歴史、連綿と受け継がれた文化や伝統、歴史的な町並みなどの魅力ある資源と併せて、花や紅葉などの季節毎の観光スポットも多数点在しております。また、ぶどうや柿、いちごなどが旬の時期には、各種フルーツ狩り体験のバスツアー等の観光客の方々にお越しいただいています。

久留米市では、この地域をみどりの里づくりエリアと位置づけ、道の駅くるめや久留米つばき園、久留米市世界のつばき館（平成 26 年 3 月竣工）の整備を行うとともに、地域に点在する資源や季節の魅力を活かした散策ルートの設定を行うなど、地域資源を活用した魅力づくりに取り組んでいるところです。

このような地域資源を活かし、市内のさまざまな魅力を体験できるプログラム「久留米まち旅博覧会」や、公共交通機関と連携した観光商品づくりの支援なども行っており、今後は、さらに市内の周遊や宿泊に繋がるような仕組みづくりを検討してまいります。

今後も市民の皆様と連携し、本市の観光振興を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【回答課：観光・国際課】

●シティ・セールスの推進

Q：久留米に来て4年目ですが、地元情報があまり無かったので、行ったことがない場所などもっと知りたいと思った。また、全国に友人・知人がいるので紹介していきたいと思う。もっと観光地がわかる地図などを、道の駅や手に取りやすい場所に置いてあると良いと思います。(30歳代、女性)

A：久留米市では、市内の観光情報を掲載したパンフレット「久留米の旅ノート」を、市役所や各総合支所などの主要な公共施設をはじめ、JR久留米駅や西鉄久留米駅の観光案内所、石橋文化センターや市内ホテルなどの訪問者が多い施設に準備しています。ご要望の道の駅くもめにも、情報コーナーに準備しており、その他、「ぐるめマップ」や「まちなか散策マップ」なども主要な施設に準備しています。また、「久留米の旅ノート」については、久留米市に転入手続きをされた方への配布を行っております。さらに、インターネットでも観光情報が入手できるように、久留米観光コンベンション国際交流協会のホームページでは(<http://www.kurume-hotomeki.jp/>)、観光地やイベント情報をはじめ、飲食店や宿泊施設など幅広い情報を提供しており、各種パンフレットもホームページ上でご覧いただくことができます。久留米市ホームページのトップページリンクバナーで表示していますので、こちらからもアクセスすることができます。

今後とも、積極的な観光情報の発信に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【回答課：観光・国際課】

●シティ・セールスの推進

Q：住みやすさなどから、私の周囲でも、久留米で生まれ育って久留米を離れたくないという人はたくさんいます。もっと多くの人たちに久留米を知ってもらい、久留米を訪れる人が増えるように、私はこの久留米の魅力を市内だけではなく市外の人たちにももっと発信していく事が大事だと思います。(20歳代、女性)

A：久留米市では、多くの方に久留米の魅力を知っていただき、触れていただき、好きになっていただくことで、久留米にお越しになられる方や住んでいただける方を増やし、地域を元気にしてまいりたいと考えています。

特に、平成23年3月の九州新幹線全線開業を契機とし、さまざまな場面で久留米市が“選ばれる都市”となるよう、「キラリ久留米」のキャッチコピーの下、官民が一体となり都市の良好なイメージづくりや情報発信に取り組んでいます。

具体的には、イメージキャラクターくるっばの活用や、首都圏、関西圏、福岡都市圏などにおけるキャンペーン活動、マスコミと連携した情報発信、雑誌などへの掲載、インターネットの活用、四季折々のイベントの開催などについて、市民のみなさんや近隣地域のみなさんと協力し合いながら進めているところです。

こうしたなか、久留米にお住まいの方の地域への愛着や、クチコミによる情報発信などが非常に大切です。

今後も、市内外への情報発信に努めてまいりますので、みなさんも一緒に久留米の魅力のPRをお願いいたします。

【回答課：くるめの魅力向上推進室】

●シティ・セールスの推進

Q：市の人口が増加しなければ施策は失敗していると思う。いかに人口増加をさせていくかを考えていけば、いいアイデアが立案できると思う。(60歳代、男性)

A：日本全体が人口減少社会へと転換し、今後も人口減少の加速が見込まれる厳しい状況の中で、久留米市が自主自立の自治体経営を行いながら、地域活力を維持していくためには、定住人口の維持・確保は極めて重要な課題と考えています。

このような課題認識のもと、定住促進へ向けた基盤の整備として、①快適な住環境づくり、②働く場の確保、③暮らしやすいまちづくり、④潤いと賑わいのあるまちづくりの4つの観点から取り組みをすすめております。

また、定住促進を図るうえで、子育て支援策や教育施策、企業誘致等による雇用対策など、特に重要な関係施策については重点的に充実・強化を図っております。

市の人口は、平成16年をピークに減少傾向にありましたが、ここ数年減少幅が縮小し、平成26年1月現在の人口は、前年同月比を上回っている状況です。

今後も、このような定住に関係する施策の充実や暮らしやすさ、子育てしやすい環境などについてさまざまなアイデアを検討しながら久留米市への定住促進を図っていきたくと考えています。

【回答課：総合政策課】

●拠点計画の推進と交流連携の推進

Q：久留米市が合併によって広域になり、複数の町が一緒になっているためか、どこまでが久留米なのかははっきりしない気がします。一緒に活動しながらも、それぞれの町の特徴を出していかなければいけないのではないかな、と思います。(30歳代、女性)



A：久留米市旧 1 市 4 町には、これまで育んできたさまざまな人材、文化、産業等の地域資源、また、これからの環境と共生の時代に必要とされる循環可能な自然資源などの地域資源が豊富にあります。これらの異なった地域特性を十分に活かし、お互いに機能補完を図りながら将来発展性を高めることが重要であることから、地域住民の皆さまとともに地域の特色を活かした魅力ある久留米市を築き上げていきたいと思えます。

【回答課：総合政策課】

【目標：基本計画推進に当たって】

●協働のまちづくりの推進

Q：市民活動の推進といわれますが、私は年齢が高いのでボランティアもできないしインターネットも出来ません。何か高齢者でもできるボランティアはありますか。(70 歳以上、男性)

A：ボランティア活動は、子育て支援や高齢者支援、防犯・防災活動などさまざまな活動があり、年齢に関わらず誰でもできる活動です。

ボランティアの募集については、公共施設等に配布している「市政パートナーのお知らせ」をご覧ください。また 65 歳以上の方が介護保険施設でボランティア活動を行う「よかよか介護ボランティア」制度もあります。詳しくは、健康福祉部長寿支援課 (0942-30-9207) へお問い合わせください。

また久留米市ではボランティア活動している方、これからボランティアを始めてみようと思われる方などに活用いただくため、市民活動サポートセンター「みんくる」をくるめりあ六ツ門 6 階 (六ツ門町) に設置しています。みんくるでは、ボランティアの募集情報だけでなく、インターネットやパソコンの使い方についてのご相談や、市民活動に関するいろいろな講座の案内なども行っていますので、ぜひご利用ください。

【回答課：協働推進課】

●協働のまちづくりの推進

Q：この市民意識調査は思ったより記入が多く、久留米のためにも、と思いつつも大変でした。アンケートの時期がもっと私の仕事がおちついた時だったら助かったかもしれません。でも夏休みだったから、私以上に子どもがいらっしゃる所は、おちついてアンケートを記入する時間がなかったかもしれませんね。久留米に住んでいるので、これからも一緒にもりあげていけるように頑張ります。(30 歳代、女性)

A：久留米市では市民と行政が連携・協力しながら協働によるまちづくりを進めるために、広く市民の皆さまから行政に対する意見・要望等をお聴きすることにより、市民ニーズや地域の課題を把握し、それを行政施策に活かす取り組みが必要と考えており、この久留米市民意識調査はその一環として毎年実施しています。

そして取りまとめた市民意識調査の結果は、計画策定や施策・事業の検討、推進、評価の基礎データとして活用しています。今年の調査結果は、「文化芸術基本計画」「次期障害者計画」の見直しや策定などの資料となる予定です。

また、毎年調査している第 1 章の行政施策の重要度・満足度については、新総合計画の進行管理システムである「まちづくり評価制度」において市民満足度の経年変化を計る指標として活用しています。

今後も市民意識調査の取り組みを通して、より良いまちづくりに努めてまいります。

【回答課：広聴・相談課】

●協働のまちづくりの推進

Q：それぞれの分野で活躍されている方や地域はあと思うが、それがなかなか表に出ていないと思う。努力してあることなどを市の活性化に活かしてほしい。子どもたちが安心してくらし、すこやかに成長される様な地域と子どもたちのつながりの機会を増やしてほしい。(50 歳代、女性)

A：久留米市としましても、多くの住民の皆さまが地域活動へ参加参画されることが、地域の活性化につながるものだと考えております。現在、地域活動の一部ではありますが市のホームページや協働の手引書の中で、また、“キラリ輝く市民活動活性化補助金”を活用している活動については「広報くるめ」の中で紹介させていただいております。→今後も機会を捉えて情報発信に努めて参ります。なお、校区の広報紙において、地域におけるさまざまな活動が紹介されているところです。ご意見のとおり、こうした活動が市の活性化につながっていくと考えており、防犯パトロールなど地域と子どもとの繋がりを大切にしながら安全で安心して暮らせるまちづくりに努めて参ります。

【回答課：地域コミュニティ課】

●協働のまちづくりの推進

Q：「広報くるめ」が月に 2 回配られますが経費も大変だと思います。月に 1 回で良いのでは？と言われる言葉をよく耳にします。私も同感です。(70 歳以上、女性)

A：「広報くるめ」の発行回数については、月に1回でもいいのではないかとのご意見があることは承知しております。しかし、現在、掲載している情報量やタイミングなどから、当面は月2回の発行を続ける必要があると考えています。また、平成23年度の市民意識調査において、紙面の内容やデザインについて市民の皆さんにお尋ねしましたところ、約8割の方から現行スタイルを評価いただいております。

今後とも社会情勢やニーズの変化も踏まえ、市民の皆さんに読んでいただける広報紙作りに努めてまいりますので、何とぞご理解をお願いいたします。引き続き広報くるめをご愛読いただきますよう、重ねてお願いいたします。

【回答課：広報課】

●効率的な行財政運営の推進

Q：市県民税が高すぎると思う。全国的に見ても高いほうだと思し、家計を圧迫しているのもっと安くなれないかと思う。(20歳代、女性)

A：市県民税は、地方税法などに基づいて計算され、均等に額を負担していただく「均等割」と、前年中の所得の額に応じて負担していただく「所得割」の合計が年税額になります。

「均等割」について、市民税は標準税率ですが、県民税の「均等割」については、福岡県の県税である森林環境税が加算されています。

「所得割」税率につきましては、基本的に全国一律10%（県4%、市6%）であります。市県民税の算出方法は、次のとおりとなります。

【均等割額】

- ・市民税年額 3,000円
- ・県民税年額 1,500円
(1,500円のうち、500円は森林環境税)

【所得割額】

(所得金額－所得控除^{※1})税率10%－税額控除^{※2}
＝所得割額

※1：所得控除には、社会保険料控除、生命保険料控除、寡婦・寡夫控除、配偶者控除、扶養控除などがあります。

※2：税額控除には、配当控除や住宅借入金等控除などがあります。

なお、詳細につきましては、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

◆市民税課 電話番号:0942-30-9008

【回答課：市民税課】

●効率的な行財政運営の推進

Q：市職員の数が多いのではないか。職員数の削減に取り組んでいただきたい。(40歳代、男性)

A：久留米市では、効率的で効果的な行政運営による市民サービスの充実と健全な財政基盤の強化を目指し、計画的に行財政改革に取り組んでいます。

これまでの取り組みとして、浄水場の運転管理業務、学校校務員業務、ごみ収集運搬業務などの民間委託、保育園やガス事業の民間移譲、その他にも公共施設の管理運営の指定管理者への移行などさまざまな効率化を行うことにより、職員数の削減も進めています。

現在の行政改革推進計画（平成22～26年度）では、職員数を5年間で100人以上純減するという目標を掲げていますが、22年度から24年度までの3年間で既に92人を削減しています。

今後も、市民サービスの向上を図るとともに、行政コストの削減や収入増加に積極的に取り組み、スリムで質の高い市役所づくりを目指してまいります。

【回答課：行財政改革推進課】

●効率的な行財政運営の推進

Q：市政規模で予算に限りがあるので、特色あるものを活かしていく施策の展開を希望します。(50歳代、男性)

A：久留米市の財政運営につきましては、将来を見越して財政の健全性を持続するために、歳入に見合った水準まで歳出を抑制するという身の丈に合った財政運営を堅持することが重要と考えております。

そのために、現在、平成22年度から平成26年度までを計画期間とする「久留米市行政改革行動計画」に基づき、行政サービス提供コストの削減、及び企業誘致や久留米地域経済の浮揚による税源のかん養策など、歳入・歳出両面からの実効性のある対策を進めているところです。

このような歳入・歳出両面からの取り組みの中で、「スクラップ・アンド・ビルド方式」の徹底を図るなど、久留米市の持つさまざまな地域資源を活かしたまちづくりを進めたいと考えております。

【回答課：財政課】

●分権型社会に相応しい人材の育成・確保

Q：マニュアル、通例、圧力等を恐れず、公務員という枠からとびだすような、そんな人材が久留米市役所に入ることを望む。役人気質な人間は、この時代いらない。奉仕の精神こそ公務員のカガミであり、市民のために、身をけずれる人達と一緒にいいまちづくりをしたいと強く望む。(20歳代、男性)

A：久留米市の職員採用につきましては、受験しやすい環境整備、時代に即した試験区分の研究、効



果的な広報活動を行うことで、多様な人材の確保に努めております。また、試験内容につきましても、人物重視型の採用試験を実施しており、併せて対人力や積極性、行動力などが重視される試験手法の調査・研究を継続的に行っております。

今後もこの取り組みを継続し、時代に即した人材の確保を目的とし、より効果的な採用試験の実施について引き続き調査・研究を行うとともに、採用後につきましても、市民との協働の視点を持った人材の育成に努めてまいります。

【回答課：人事厚生課】

●その他

Q：久留米市の水道料金は他の市町村より高いのではないですか。(30 歳代、男性)

A：水道料金は、水源の位置や種類（河川水・地下水・広域水道からの受水等）、水質の良否などの要因によって、事業者（各市）ごとに大きく異なっています。久留米市の水道水は、良質で豊富な筑後川の水という恵まれた水源の水から作られており、20 ミリ口径で1 か月 20 立方メートルを使用した場合の比較では、福岡県内で上水道を給水している 27 市の中でも 4 番目に安価な水道水を提供しております。

久留米市企業局では、今後も効率的な事業運営に努め、「安価で安心して飲める水」の提供に努めてまいりますので、今後とも久留米市の水道事業へのご協力をお願いします。

【回答課：営業管理課】

●その他

Q：市役所本庁舎を訪れる人が多くて、駐車場が足りていないように思います。立地的に確保できるスペースがないのはわかりませんが、何かしら対策をお願いできればと思います。(20 歳代、女性)

A：現在の市民駐車場は平成 9 年に整備したものです。その後、広域合併による人口増や、中核市移行に伴う保健所設置などにより来庁者が増加し、駐車場が混雑することも多く、お客様には大変ご迷惑をお掛けいたしております。

市では、(仮称)久留米市総合都市プラザの整備に伴い、市民会館を解体する予定であることから、市民会館の跡地に、新たな駐車場を整備したいと考えているところです。

なお、現在の駐車場の混雑緩和対策といたしまして、本庁舎近隣の 2 箇所の民間駐車場を指定駐車場と位置づけ、駐車サービス券の交付をいたしておりますので、ご活用いただきますようお願いいたします。

【回答課：財産管理課】